

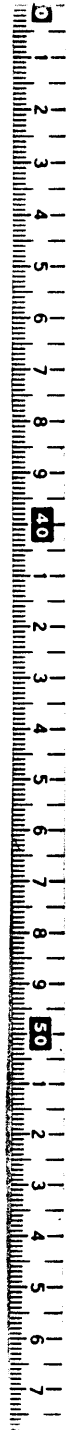
電子複写不可

昭和二〇、二一、二二、二三

独立混成第十五聯隊陣中日誌

沖  
神 縄  
349

防衛研修所図書館



# 陣中日誌

自昭和三年一月一日  
至昭和三年一月三十一日

獨立混成第五聯隊本部

Jan 1989  
OKINAWA 2 JULY  
B-23540  
Cinccpac-C... cpas  
RS 80403

W.A. (H)  
85977

80032

915

一月一日 一九三〇ヨリ 戰鬥指揮所ニ於テ聯隊本部及工兵

晴 中隊新年遙拜式ヲ舉行

沖繩縣中頭郡中城村 聖壽ノ高歳ヲ唱ヒ奉ル

島 袋 各大隊獨立中隊ハ各々其ノ駐屯地ニ於テ遙拜式ヲ舉行

二〇九二三空襲警報發令

三 B27一機中飛行場上空旋廻シ西方ニ脱去

四 一〇三〇空襲警報解除

五 正月用品各隊ニ配布

六 部隊長年頭挨拶ノ為旅團司令部ニ出向、柴田中

尉隨行

七 發信一、着信一

陸軍

一月二日 嘉手納需品到着

晴 一 自動車修理實施

島袋 三 越來村役場——山内前交換機間重構成工事開始

受領 獨立混成第四旅團命令 一、二、一〇〇〇 宜

獨逸旅團命令第一號 一 旅團ハ旧守備地區残置物件ノ輸送ヲ促進セントス

二 各部隊ハ残置物件ヲ別紙要領ニ依リ地方馬車ヲ

以テ之カ輸送ヲ實施スヘシ

三 細部ニ関シテハ松井中尉ヲシテ指示セシム

旅團長 鈴木少將

下達法 印刷交付

配布先 南北東地區 2022 二野病 2077 嘉連

報告先 32A

下達命令 獨立混成第一五聯隊日命令 一月二日

日命第一八號一 馬掛將校陸軍中尉 杉浦隆彦

馬掛將校 陸軍少尉 石井英久  
 同 助手 同 軍曹 村田幾造  
 同 同 同 諏佐喜雄次  
 頭書ノ通馬掛同助手ヲ命ズ  
 二臨時軍馬各隊ニ配當ス  
 各隊ハ岡澤大尉ノ指示ニヨリ受領スヘシ  
 以下略

陸軍

一月三日 一、自動貨車修理ノ爲坂口技術准尉首里へ出張

二、〇九一五機一機屋宣上空ニ侵入

島 袋三〇九三七空襲警報發令

四、敵艦上機本島ヲ空襲 當地区内ニ爆彈投下ナシ

五、警報ノ傳達不良ニシテ敵機侵入後一時間ヲ經テ瀬ノ傳達ナル

六、越來村役場 一山内前交換機間重構成工

事完了

七、二〇五空襲警報解除

陸軍

一月四日、旅團ヨリ、敵医部見習士官一、増加配属アリ、山

曇 田獸医部見習士官本日部隊ニ到着

島 袋ニ、九〇〇勅諭奉讀式舉行

三、一〇五空襲警報發令

四、敵機動部隊ヨリ一機未襲那霸及北飛行場

ニ投彈 當地區被害ナシ

五、一〇五空襲警報解除



陸軍

一月六日 一。九。〇。岡澤大尉輸送ニ関シ連絡ノ爲平安山ニ出

島 袋 曇 張

二。縮帶所構築作業開始

三。一。三。〇。第一大隊長及第三大隊長來隊

四。一。三。三。部隊長旅團司令部ニ出向

五。一。三。四。警戒警戒報解除

六。旅團ヨリ重構成工事用諸材料受領

七。山砲榴彈七五箱受領





下達命令	<p>一 下ニ入ラシムヘシ</p> <p>四 第二作業隊長ハ前二項ノ人員ヲ併セ指揮シ同地ニ於テ速カニ軍經理部長ノ指揮下ニ入ルヘシ</p> <p>五 屋宜——名護間ノ兵力輸送ハ旅團司令部ニ於テ實施スヘシ</p> <p>其ノ他ノ地區ニ於ケル輸送ハ軍經理部担任ス</p> <p>六 作業間ノ給養ハ軍經理部ヨリ受クヘシ</p> <p>七 細部ハ松下大尉ヲシテ指示セシム</p> <p>旅團長 鈴木少將</p> <p>下達法 要旨電話后印刷交付</p> <p>配賦先 練指揮下一般第一第二作業隊</p> <p>報支通報先 三三軍、軍經、國支</p> <p>別冊略</p> <p>獨立混成第一五聯隊日日命令 一月七日</p>
------	--

(編谷眞・家規)

陸軍

日命第一二號	<p>一 陸軍少佐 西村信義</p> <p>同 大尉 野崎直彦</p> <p>右軍ニ於テ實施セラレル對空挺作戦兵棋演習参加、爲明八日ニ泊ノ予定ヲ以テ軍司令部ニ出張ヲ命ズ</p> <p>二 明八日大詔奉戴日ニ就キ詔書奉讀式ヲ實施ス</p> <p>仍而左記ノ通心得ベシ</p> <p>左記</p> <p>一 各大隊及各獨立中隊ハ各々其ノ駐屯地ニ於テ實施スヘシ</p> <p>二 聯隊本部ハ。九。本部事務室前ニ集合シ部隊副官ノ指示ヲ受クベシ</p> <p>三 單獨ノ軍裝略授佩用トス</p>
--------	--

陸軍

一月八日 一〇九〇ヨリ本部事務室前ニ於テ大詔奉讀式舉行

島 袋 二西村少佐、野崎大尉、軍ニ於テ實施セラレル對空機

作戦兵棋演習参加、為ニ泊、予定ヲ以テ那覇市

軍司令部ニ出張

三、第二大隊諸線重構成工事續行

四、坂口技術准尉各隊兵器掛ヲ集合セシメ込納弾藥

ニ関スル打合せヲ實施

下達命令別紙

獨逸五作命第一號

獨混奉命第一號

南地區隊命令

島ハ、一ニ、ロ。

一、旅團ハ國頭地區ニ於テ作業隊ヲ編成シ築城用材及薪炭ノ生産補給ヲ實施ス

二、地區隊ハ獨混四旅作命第二號ニ基キ一部ノ兵カラ前項作業隊

ニ派遣シ以テ作戰準備並ニ居住施設ノ急速ナル完成ニ資スルモトス

三、各大隊長ハ左記人員ヲ一月十日迄ニ國頭郡川田ニ於テ爾第二作

業隊長 玉田中尉ノ指揮下ニ服務セシムル如ク十日ニ至リ迄ニ

旅團司令部ニ差出シ松下大尉ノ指示ヲ受ケシムベシ

左記

第一大隊 兵五

第三大隊 下士官一 兵五

四、派遣人員ノ輸送ニ関シテハ旅團司令部及軍經理部ニ於テ準備ス

五、作業間ノ給養ハ軍經理部ヨリ受クベシ

六 細部ニ関シテハ岡澤大尉ヲシテ指示セシム

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各隊、海軍第十砲台

報告通報先 各隊、海軍第十砲台、東北地區隊、連絡基地第三大隊

陸軍

一月九日	一。八五。警戒警報發令
島袋行	二。通信班主力ヲ以テスル第二大隊関係重構成工事續行
	三。九。空襲警報發令
	直ニ部隊長戰鬥指揮所ニ到リ乙號戰備ニ遺憾ナキヲ期ス
	四。一。三。空襲警報解除



下達法 印刷交付  
 配布先 東地區隊 南地區隊 北地區隊  
 報告先 三三軍

陸軍

一月十一日 二〇八三〇部隊長石井少尉帶同石部隊卜連絡  
 島 爲普天間ニ出向  
 袋 二一〇〇第三大隊長來隊

- 三、山内前掃隊戰鬥指揮所間重構成工事完成
- 四、井上隊(渡慶次)——讀谷山軍通信第二交換間重構成工事完成同時ニ切換、實施施入
- 五、兵器委員、彈藥庫ノ擬裝強化開始
- 六、旅團ヨリ兵器手入材料受領
- 七、發信一

陸軍

一月十二日 一、將校以下赤痢予防接種實施

二、彈藥庫偽裝工事續行

島 袋 三、發信四、着信一、

下達命令別紙

獨立存命第二號

同 第二號

同 第四號

同 第五號

同 第六號

日命第一三五號

拔 第三

獨立混成第一五聯隊日日命令 一月十二日

第三中隊 陸軍上等兵 中村清壽

第八中隊 陸軍一等兵 瀧澤治二

工兵中隊 同 綠川信義

同 同 桑名藤一



昭和十五年陸普第一〇〇號ニ據リ近衛歩兵第十聯隊ニ轉属ヲ命ズ(昭和十九年十二月三日附)

(附行員・直取)

獨混五森命第二號

南地區隊命令

一 地區隊ハ量ニ配布セシ對戰車肉迫攻査閱<sup>島ニニニ</sup>按實<sup>ニ</sup>計畫ニ基キ對戰車肉攻査閱ヲ實施シ以テ教育訓練ニ劃期的向上ヲ期セントス

南地區隊長 美田大佐

下達法 印刷交付

配布先 各隊、海軍第十一砲台

報告通報先 <sup>44965</sup> A.P. <sup>114</sup> 北東地區隊ノ連絡基地第九大隊

獨混二在命第三號

南地區隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

- 一、旅團ハ對空挺戦斗ニ關スル普及教育ヲ實施ス
- ニ、地區隊ハ所命ノ人員ヲ普及教育補助官社ニ專習員トシテ參加セシメ以テ地區隊戰力ノ充實ニ資具セントス
- 三、西村少佐及野崎大尉ハ補助官トシテ前項教育ニ任スベシ
- 四、岡澤大尉及大隊副官各中隊長ハ前項教育專習員ヲ命ス
- 五、細部ニ關シテハ岡澤大尉ヲシテ指示セシム
- 六、予ハ見學者トシテ前項教育ニ參加ス

南地區隊長

美田大佐

下達法 電話ニテ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各隊、海軍第十二砲台

報告通報先 必6Bs, A, P, 77As, 北東地區隊、連絡基地第二九大隊





獨混五森命第六號

南地區隊命令

一六二一四〇〇 裝

一 軍八月十五日ヨリ五日間、予定ヲ以テ兵器移動修理班ヲ地

區隊ニ派遣ス

二 地區隊ハ速ニ兵器(銃器)ヲ加修シ整備ノ完璧ヲ期セシ

トス

三 各隊ハ兵器検査ノ結果ニ基キ要修理兵器ヲ取纏ヌ

十四日一二〇〇迄ニ兵器委員ニ差出スベシ

四 兵器委員ハ尙衣附近ニ修理所ヲ選定シ修理班ノ作

業ヲ援助スベシ

五 修理班ノ指管給與ハ部隊本部ニ於テ担任スベシ

六 細部ニ関スル兵器委員ヲシテ指示セシム

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ハ後印刷交付

配布先各隊、海軍第十一砲台  
 報告通報先 ~~4493~~ A、P、M、此、東地區隊、連絡基地第三九大隊

陸軍

一月十三日	一、一四〇〇ヨリ越来國民學校ニ於テ第一回南地區
晴	駐屯地會報實施(配布書類別紙)
島	袋山部隊ヨリ陣地構築用枕木ヲ引継。元。村
	上少尉之ガ枕木ヲ受領
	三、第一大隊戰鬥指揮所——交換、谷、重構成工
	事完成
	四、前日ニ引續キ將校以下赤痢予防注射實施

駐屯地命令第三號

南地區駐屯地命令

一三〇九  
袋

一 球第六三六部隊陸軍中尉 田中 由三郎

自一月十三日一ニ。間南地區巡察將校服務スベシ

ニ 服務ノ細部ニ関シテハ副官ヲシテ指示セ

シム

南地區駐屯地司令官 美田 大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

(報告配布先) 一 南地區駐屯地司令官 (地區内各部隊)

駐屯地會報ニ於ケル示達事項

昭和二〇年  
南地區駐屯地司令官

一、軍紀ノ振作ニ就テ

駐屯地一般ノ軍紀ハ劃期的ニ振作向上ヲ要ス

左ニ振作ノ爲ニ要望スル点ヲ示ス

(1) 上ハ大權ノ承行ヲ謹嚴ニシ、下ハ謹シテ服從ノ至誠ヲ致ス。觀念ノ透徹ヲ要ス

(2) 軍紀ノ振作カ戰捷必須ノ要件ニシテ將校ハ軍紀ノ根源ナルニ思ヒテ致シ自隊ハ勿論他隊ノ者ト雖、苟モ軍紀ヲ紊リアルモノニ對シテハ看過放任スルコトナク現場ニ於テ矯正スル熱意ヲ望ム

(3) 敬禮ノ嚴格ナル實施ヲ強ク要望ス

幹部ハ敬禮ノ實施不正ナル者ハ自他隊ヲ問ハス嚴ニ矯正シ駐屯地内ノ敬禮ノ實施ヲ劃期的ニ向上セシム



ヲ望ム

(4) 部隊ノ指揮掌握ヲ確實ナラシムルヲ要ス

(5) 巡察將校ノ活躍ヲ望ム

(6) 服裝ヲ端正ニシ態度ヲ嚴肅ナラシムル如ク指導セラレ度

嘉手納ニ於テハ時間外ノ外出、服裝態度特ニ不正ナルモノ多シ將來看過セス

二 部隊ノ混住ニ伴フ風紀對策ニ就テ

三 慰安所ノ問題ニ就テ

四 對住民及物資取得ニ就テ

五 樹木伐採、障地其ノ他施設構築時ノ相互協定ニ就テ

### 軍並ニ旅團ニ於ケル副官會同會報事項

昭和二十一年十一月三日  
南地駐屯地司令部

#### 軍會報事項

- 一 未ダ自動車事故多發ノ傾向アリ、指揮監督ヲ嚴ニサレタシ
- 二 十二月亦、未檢閱書簡二千通ニ達ス
  - 尙外テ投函スルモノアリ注意ヲ要ス
- 三 山部隊ニ敬禮良好ナリ、民ニ對シ金一封ヲ送レルモノ等アリ
- 四 飲酒ノ上將校ノ部下ヲ刺シタル例宮古島ニアリ
- 五 亦本島ニ於テモ正月百上等兵が銃劔ヲ以テ班長ヲ刺シタリ
- 六 火災予防ニハ嚴ニ注意スベシ(別紙ノ如キ例アリ)
- 七 週番日直者ハ内務令ノ通りニ取締ルベシ
- 八 十二月十八日嘉手納ヨリ那霸行ノ山笠ニ、三四部隊ノ自動車ヨリ落セル中尉ノ軍刀アリ
- 九 銃劔モ拾得ニアルモ届出ナシ
- 十 外出ハ内務令ニ從フベシ現在ニ於テハ臨時外出ハナキモノト思フ

8. 慰安所ノ使用時間ヲ嚴守サレタシ  
9. 野戰兵器廠ハ南風原守宮平ノ織物工場ニ移轉セリ  
電話津賀山一四

10. 齒科治療ハ昭和十五年陸普第八一三九號ヲ研究ノ上實施セラ  
レタシ

### 旅團長注意事項

1. 敵機行動中ハ自動車ヲ動カスナ
2. 酒ハ善用スベシ 飲酒ニ依ルト雖モ事故者ニ對シテ寛大ニ失スルテ
3. 燒カズ、取ラス、犯サズ、ノ三原則ニ徹セヨ
4. 各級指揮官ノ位置ハ高所ヲ選定シ指揮官ノ位置スベキ場所  
ニ本部ハ宿營スベシ
5. 各隊相三ニ惡感情ヲ持合スハ不可ナリ

### 旅團會報

1. 敬禮ノ實施活潑ナラス、活潑ナル敬禮態度ヲ實施スベシ

### 特ニ將校ヨリ矯正スベシ

1. 帶劔ヲセス歩ク兵アリ、必ず帶劔ノコト
2. 空襲ヲ常ニ考慮シ充分ナル射撃準備ヲ爲セ  
陣地構築ノミニ片寄ルハ不可ナリ、教育訓練ト半々ニヤレ  
亦陣地 八或ル夜ヒ偽裝ヲ行ヘ、諸資材ノ集積所亦然リ
3. 大隊本部等ハ陣地附近ニ宿營地ヲ選定スベシ
4. 曉第一六七四一部隊 A型パラチユース患者發生ス、嘉手納  
附近ノ部隊ハ注意ヲ要ス
5. 自動車ノ旗ノ區分ヲ知ラザル兵アリ、教育ヲ要ス

且敬禮ノ時機ヲ誤ラザル

様

### 情報傳達経路

1. 一軍——軍合同通信所——各部隊
2. 情報放送ヲ受信シ各部隊へ

8. 兵器修理實施セラレルニ付書類提出ノコト  
 9. 現金ニ〇円嘉手納附近ニ拾得セリ  
 10. 旅團ノ戰鬥計畫所ハ一部改訂ノ予定ニ付各隊計畫書  
 ノ作製ハ一時中止ノコト

月日	原因	損	害	場所
19. 7. 4	無線機機油ノ漏洩 セルモノニ引火ス	火傷一名(全治三週間) 木造平屋建一坪(九〇月) 兵器被服若干	鹿兒島縣大島郡 球第一二四一七部隊	
19. 7. 25	蚊帳間ニランプヲ入レ就寝 スヘク蚊帳ヲ上ケタル際風 ヨリ下線ニ延焼ス	八九式短小銃一外一 八銃形天幕一燒失 被服若干	中頭郡北谷村 山第三四八〇部隊	
19. 10. 1	原因不明	九四式微甲彈 九七〇 手榴彈 三三〇 小銃 三三〇 八九式短小銃 五眼鏡一 其ノ他若干(七、四、月) 八銃形天幕一(七、五、月) 被服若干(四、三、月)	島尾郡豊見城村 武第五三三部隊	
19. 11. 18	焚火ノ不始末	天幕 三枚 燒失	中頭郡 諸谷山村 山第三四一五部隊	
19. 11. 20	火種ヨリ飛火故事用ナ新 (枯木)ニ延焼ス	天幕 三枚 燒失	宮古郡伊良部村 碧第一二九四二部隊	
19. 11. 26	ランプニ給油ノ際 顛倒シ 石油ニ引火ス	八銃形天幕一燒失 毛布 瑠璃 被服 一絲 毛布(六〇月) 被服 其ノ他	右 同	
19. 11. 27	マヨリヤ等ノタメ雜草ヲ却却 スヘク火セルモノヨリ飛火 延焼ス	被服 被服 被服 被服 被服 被服	八重山郡大浜村 球第六四七六部隊	
19. 12. 7	炭ノ吸殻ヨリ附近ニ在リタル 二角兵舎一棟九四式短小銃四 カトリツトニ引火ス	被服 被服 被服 被服 被服 被服	中頭郡 北谷村 山第三四一八部隊	
19. 12. 12	ランプニ給油シ炭火スルヤ口金 附近ニ漏出スル油ニ引火ス	被服 被服 被服 被服 被服 被服	中頭郡 伊江村 球第八四九七部隊	

巡察報告摘録

昭二〇  
南陸七地司令部

一、軍紀風紀不良ナリトシ巡察官ヨリ報告アリタル事例

○山第三四七四部隊山浦隊 陸軍一等兵 斎藤定明ハ知花野戦病院ニテ附添看護ノ性ニテ作ラ無断無帯剣ニテ散歩シアリ且敬礼ヲサス

○山第三四九〇部隊病馬徹 陸軍兵長 南秋男、同等兵 市原正二郎 公用外出中ニ於テ敬礼動作不活潑且形ノミニテ誠意ヲ認ムズ且市原一等兵ハ上衣ヲ鉄階ニ入レ負ヘリ

極メテ宜シカラズ

○球第一六四四部隊大鹿隊 陸軍上等兵 波野博、同等兵 大庭廣海、球第三四四四部隊甲隊 陸軍一等兵 伊藤武松、山第七四部隊東隊 陸軍兵長 上井弘、球第三七二部隊 山田隊 陸軍一等兵 鬼切福作、球第六七五〇部隊 山田隊 陸軍兵長 山西郭視 右者公用外出ニ於テ公用証或ハ証明書ヲ有セス

○球第一六六四部隊大鹿隊 陸軍一等兵 小竹忠夫、同 村瀬上茂、引率不確実且敬礼違フ

○球第五三八五部隊 小隊(雁行湯殿定隊) 陸軍兵長 岩瀬静馬、同等兵 山内啓三郎、同 高岡虎男、正午休憩中巡察官 側ヲ通り交ワ見ルモ敬礼スルトナク注意セザレバ礼ナシタルモノト認ム精神状態甚ク悪シ

○球第一六六四部隊野崎隊本部 陸軍一等兵 川田金三郎ハ服装端正ナラズ且無断ニテ道端民家ニ立寄リ砂糖ヲ求メ居タリ

○球第七八二六部隊本部 陸軍兵長 建石五郎 公用外出中、服装端正ナク

○球第七一〇部隊松田隊 陸軍上等兵 中地太郎、同上 化白加米、同 金城睦三 作業

場ニ向フニ中地上等共引率セズ各個ニ行動物入ニテ入レ且物入ホタンヲ外シ上衣  
 ラ袴ノ内ニ入レテ着用スル等 服裝態度度悪シ  
 球第七八二六部隊高橋隊陸軍兵長 山内鉄男ハ巡察官対スル態度不良、言語不明瞭  
 同部隊 加藤隊 陸軍軍曹 高坂健一 同佐々木榮一 同任長 佐藤英夫 課業、  
 学課ニ宿舎ヨリ行ク途中防雨外套ノ頭中ヲ使用 同山寺隊 陸軍一等兵 本間澄  
 防雨外套ノ物入ニテ入レ歩行シアリ、  
 誠第五二一部隊在藤隊陸軍一等兵 間宮義造ハ往來端ヲ被服日光消毒監視中橋  
 畔ノホタンヲ外シ且甘藷ヲ置リ 服裝態度甚ク不良ナリ  
 一、服裝態度敬禮嚴正ナリトシ報告アリタル事 例  
 球第一八八部隊 嘉敷隊 陸軍上等兵 平信榮 敬禮態度真面目ニシテ良好ナリ  
 山第四八〇部隊 作間隊 陸軍任長 石川正義 部下引率中、態度嚴正号令  
 及敬禮又活潑ニシテ良好  
 球第五三八五部隊 宇久田輝稜 陸軍兵長 橋本正行 同一等兵 小川大作  
 作業中於テ敬禮態度良好  
 山第八〇部隊 新増隊 陸軍一等兵 東小作 郎 彈藥監視中、敬禮態度良好  
 山第七八〇部隊 陸軍二等兵 山田常男 同 大河原明 公用外出中、  
 敬禮服裝態度嚴正ナリ

陸

一月十四日	一、二、三。部隊長、岡澤大尉帶同第三大隊對戰車
曇	施設偵察
島	袋二、第二十二軍司令部附陸軍軍医少尉濱松繁着任
	同日第一大隊勤務ヲ命ズ
下達命令	別紙
獨立五作命令第一號	
同 第八號	
同 第九號	
日命第一三七號	獨立混成第一五聯隊日日命令 一月
	一、第三十二軍司令部附陸軍軍医少尉 濱松 繁
	獨立混成第五聯隊勤務ヲ命ズ
	陸軍軍医少尉 濱松 繁
	第二大隊本部勤務ヲ命ズ(一月十一日附)

有賀存

衛生部下士官勤務ヲ命ズ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(備書・宮部)

獨混五作命第七號

南地區區隊命令

一四一〇〇〇

- 一 地區隊ハ本部町渡久地附近ニアリテ材料諸種材ノ前送ニ任ジアリシ部隊ノ追及ニ伴ヒ新ニ部ノ兵力ヲ渡久地ニ派遣シ製材作業ヲ續行セントス
- 二 工兵隊長ハ下士官以下十四名ヲ渡久地ニ派遣シ現製材實施中ノ作業隊ノ任務ヲ繼承セシメ製材作業ヲ續行セシムベシ
- 三 兵器委員ハ前項人員及糧秣ノ輸送ニ任ズベシ
- 四 經理委員ハ製材作業隊ノ爲約一ヶ月分ノ糧秣ヲ交付スベシ
- 五 服務ノ細部ニ関シテハ藤本中尉ヨリテ現場ニ於テ指示セシム

南地區隊長 美田大佐

下達法 電話ニテ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

既布先 各隊

報告通報先 各隊、北地區隊

獨立混成第八號

獨立混成第十五聯隊命令

一、四、二、〇、〇、  
袋

一 聯隊ハ一部ノ彈藥ヲ旅團ニ返納セトス

ニ 各隊ハ量ニ示セル彈藥ヲ整備要領ニ基キ自隊ニ於テ保有スベキ彈藥ヲ整理シ過剩トスル彈藥ヲ兵器委員ニ交付スベシ

三 兵器委員ハ守備地域ニアル過剩彈藥ハ現場ニ於テ渡久地ニ集積セル彈藥ハ渡久地ニ於テ夫々旅團兵器係ニ交付スベシ

獨立混成第十五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各隊

報告通報先 各隊、東地區隊

獨混五作命第九號

南地區隊命令

一四一三〇〇  
島

- 一 地區隊ハ桑江ニ前送セシ陣地構築並ニ棲息施設用資材ヲ速ニ各隊擔任陣地内ニ招致セントス
- 二 石川准尉ハ左記人員ヲ指揮シ前項資材ノ前送ニ任スヤ  
荷馬車ニシテ配屬ス
- 三 各隊長ハ前項資材前送等領者トシテ左記人員ヲ毎日  
八〇〇桑江驛ニ差出シ石川准尉ノ指揮下ニ服務セシムベシ

左記

十五日

聯隊砲

兵三

兵

兵四

通信

兵三



十六日

聯隊砲

兵五

連射砲

兵五

工兵

兵五

通信

下士官一兵二

十七日

第一大隊

兵一〇

工兵

兵一〇

南地區隊長

美田大佐

下達法

要旨、簿、後印刷交付

配布先

各隊、海軍第十一砲臺

報告通報先

449B、A、P、MA、北東地區隊、連絡基地第三九大隊

陸軍

一月十五日

雲

一、部隊長旅團、行方對空校戰鬥教育見學ノ為ニ  
地越未國民學校ニ出向

島

一、旅團ヨリ糧秣受領、直ニ各隊ニ交付

二、今歸仁次留隊、残存シテリタル諸線撤收

四、松尾軍医中尉、膽石症疑ニテ野戰病院ニ入院

五、銃器修理班未隊

陸軍

一月十六日。九。兩澤大尉資材輸送ニ関シ桑江へ出張

島 袋 二、旅團石部隊間ノ協定不十分ニ基因シ部隊交  
換―屋宜交換間ノ有線石部隊ヨリ撤收サル  
應急ノ處置ヲ取り連絡ヲ確保ス

三、島袋内假修理工場ニ於テ銃器修理班作業開  
始



--	--

(測行真・卓版)

陸軍

一月十八日	一。九。〇。部隊長岡澤大尉帶同喜舍場野獸病院ニ出向
晴	二。一。三。〇。ヨリ部隊長岡澤大尉帶同第三大隊方面偵察
島	三。二。三。〇。部隊副官・副官會同出席，為屋宜旅團司令部ニ出張
袋	四。通信班主カヲ以テ陣地附近ノ無線通信壕構築工事開始
	五。高級軍医第三大隊衛生狀況視察
	六。修理班ヨリ修理用トシテ銃器部品「五」品目「四」ニ具補給ヲ受ク
	七。修理班作業終了、修理品目別紙ノ如シ



陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉

陸軍

一月十九日	一、七三。橋本大尉、北村大尉、軍ニ於テ實施セラレレル對戰車築城及爆藥戰斗教育出席、爲
島	那霸軍司令部ニ出張
曇	二、四〇。部隊長、部隊副官帶同本部各事務室兵舎ヲ巡視
受	三、輸送ノ爲、澳船(五〇七)比謝川ニ入港一七〇。揚陸完了
領	獨立混成第四四旅團命令 <small>一九二〇。屋</small>
獨混混旅作命五五	一、旅團ハ球作命丁第 號ニヨリ國頭支隊ヘノ糧秣輸送ヲ援助セントス
	二、各部隊ハ前項輸送援助ノ爲、別紙兵力ヲ差出シ、各掛將校ノ指揮ヲ受ケシムヘシ
	旅團長 鈴木少将
	下達法 電話后印刷交付

獨立混成隊第四旅團命令 一九二〇年三月 屋	配賦先 156's 21 44A 77's 國支	報告(通報)先 32A 24D	別紙略
獨立混成隊第四旅團命令 一九二〇年三月 屋	獨立混成隊第八八號ニ依ル第一作業隊長ハ其ノ 任務ヲ先任下士官ニ申送り速カニ飯隊スヘシ	細部ハ松下大尉ヲシテ指示セシム	旅團長 鈴木少將
下達命令 別紙	下達法 電話后印刷交付 配賦先 156's 報告(通報)先 32A 國支	別紙	

(編行員・東京)

陸軍

獨立混成隊第二旅團 日命第一〇四號	獨立混成隊第二五聯隊日日命令 一月十九日	第五十師團編成要員トシテ台灣軍司令部ニ出向ヲ命ズ	明二日旅團司令部ニ到リ内田少佐ノ指示ヲ受クシ	第一中隊 陸軍中尉 同 少尉	中野清市 陸野一郎	右昭和十五年陸普第百號ニ據リ近衛歩兵第十聯隊ニ轉屬ヲ命ズ(虎竹兵長昭一九二〇年三月三日附太田二等兵 昭一九二〇年六月附)
----------------------	-------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------	--------------	---

獨混五作命第一〇號

南地區隊命令

一九四〇年

- 一 軍ハ對戰卓著、築城及爆藥、鐵鋼ニ關スル普及教育ヲ實施ス
- 二 北村大尉ハ前項教育專習員トシテ一月十九日〇九〇那霸市第一高等女學校ニ出頭スベシ

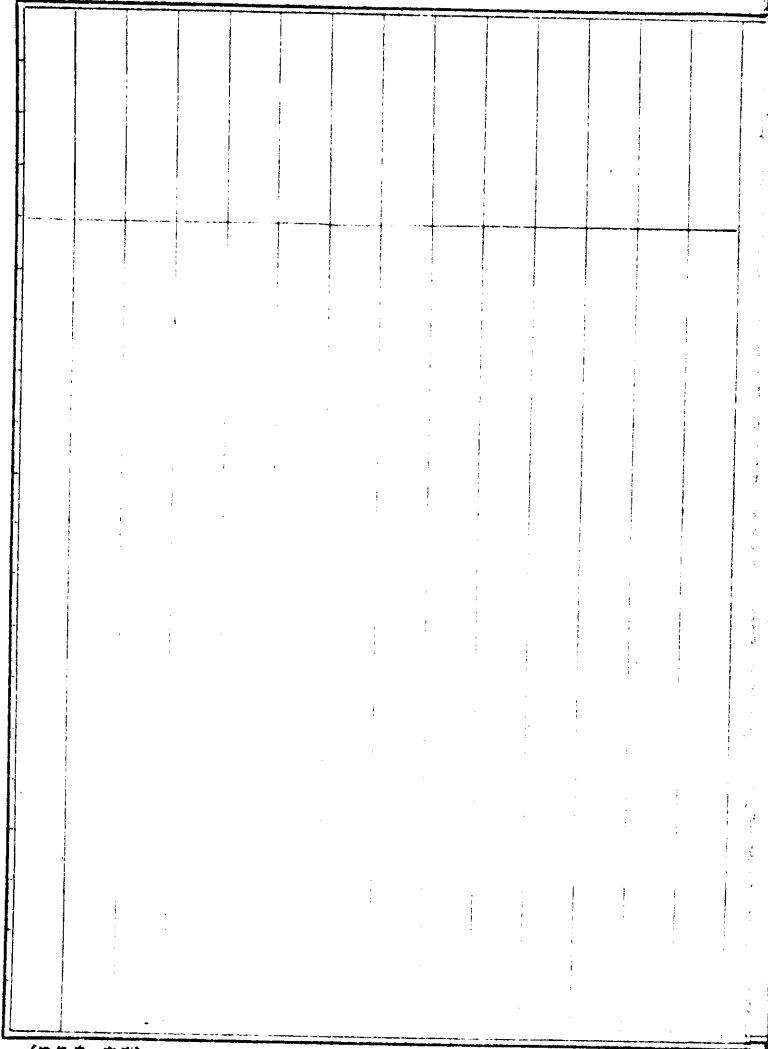
三 細部ニ關シテハ岡澤大尉ヲレテ指示セシム

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各隊 海軍第一砲臺

報告通報先 4493, 412, 374, 東北地區隊、連絡基地第二九大隊



(圖行真・東京)



南地區隊命令

一九一〇年

- 一 輸送船早達丸(吾頓)ハ本十九日四時頃、渡具知埠頭ニ入港ス
- 二 地區隊ハ所要ノ兵力ヲ差出シ、短切揚塔ヲ設置スルト共ニ速ニ各隊擔任陣地内ニ前送セントス
- 三 石井少尉ハ渡久地ヲ、追及兵力及左記人員ヲ併セ指揮シ前項資材ノ揚陸ニ前送ニ任ズベシ
- 四 各隊長ハ左記人員ヲ差出シ石井少尉ノ指揮下ニ服務セシムベシ

左記

聯隊本部 村田軍曹、吉岡兵長

I 兵一五

聯隊砲 下士官一、兵四

五 細部ニ關シテハ岡澤大尉ヲシテ指示セヨム

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ハ後印刷交付  
 配布先 各隊、海軍第十一砲台  
 報告對象 各隊、海軍第十一砲台  
 南地區隊長 美田大佐

獨混二存命第一號

南地區隊命令

島一九一四〇〇

- 一 旅團、軍、國頭支隊、糧秣輸送ヲ援助ス
- 二 地區隊、獨混留隊作命第六號ニ基キ所要ノ兵力ヲ差出シ前項作業ヲ援助セントス
- 三 各隊長、左記人員ヲ二十日〇九ニ迄ニ指見里球セシメ部隊經理室前ニ差出シ、〇〇〇〇ニ至ル間旅團係將校ノ指揮下ニ服務セシムル

左記

- I 下士官 一、兵 二〇
- II 兵 二〇
- III 兵 一〇

工兵中隊

四 細部

關

國澤大尉

指示

〇〇〇〇

〇〇〇〇

下達法 電話ニヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付  
 配布先 各隊 海軍第十一砲台  
 報告通報先 <sup>妙</sup>A、P、M 東北地區隊 連絡基地第三大隊

陸軍

一月二十日	一〇九〇ヨリ部隊長岡澤大尉帶同彈藥格納
曇	狀況視察
島	一、旅團長第三大隊ニ於ケル肉攻査閱指導、為同大隊へ出向
袋	柴田中尉旅團長誘導ニ任ス
	二、中野中尉 陸野少尉第五十師團編成要員トシテ沖動第三號ニ據リ台湾軍司令部ニ出向ノ為部隊出發
	四、柴田中尉以下二名赴來國民學校ニ於テ旅團下士官候補者隊ニ通信教育實施
	五、旅團ヨリ糧秣受領
	冬襦袢袴下各隊ニ交付、少數ニシテ全員ニ支給シ得ス
	六、第九中隊入洗患者八島文義。三四。死亡

病名勝ナブス兼腹膜炎

七修理班朝食后離隊

八修理完成品ヲ各隊ニ交付

九火砲修理班元田技術中尉以下一九名來隊

受領

獨立混成第四旅團命令

一各部隊ハ獨立混成第四旅團命令第六號ニ依ル輸送援助ヲ爲

更ニ別紙兵カヲ差出シ各將校ノ指揮ヲ受ケシ

ハシ

二細部ハ江口主計中尉ヲシテ指示セシム

下達法 電報后印刷交付

配賦先 旅團長 鈴木少將

報告(通報)先 旅團長 A 團支 P

下達命令 別紙

(續行員・軍醫)

陸軍

獨立混成第四旅團命令第六號  
獨立混成第四旅團命令第七號

獨逸軍作命第六號

南地區隊命令

島<sub>一〇一四</sub>袋

一 地區隊ハ獨逸四旅作命第八號ニ基キ作命第六號ニヨリ  
 輸送援助兵力ヲ更ニ増強セントス  
 二 各隊長ハ左記人員ヲ一〇〇迄ニ諸見里球第七〇七ニ部隊  
 經理室前ニ差出レ  
 二十日〇八〇〇ニ至ル間旅團見玉主計少尉ノ指揮下ニ服務セ  
 レムヘシ

左記

I 下一 兵一ニ

III 兵一ニ

二 兵中隊下一 兵 六

三 細部ニ關シテハ岡澤大尉ヲシテ指示セシム

南地區隊長 美田大佐

下達法 電話ニヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付  
 配布先 各隊、海軍第十一砲台  
 報告通報先 各隊、A.P.M.、東北地區隊、連絡基地第二十九大隊

獨混五作命第二四號

南地區隊命令

ハニロ、レ七〇。袋

一 地區隊ハ渡具知ニ前送セシ戦斗資料ヲ山部隊自動貨車ヲ

利用シ速ニ各隊擔任陣地内ニ前送セントス

ニ 鈴木少尉ハ左記人員ヲ指揮シ山部隊未本中尉ト連絡シ

前項戦斗資料ニ前送ニ任スベシ

左記

本部 村野軍曹 村野軍曹

I 兵 三〇

聯隊砲 兵 二〇

南地區隊長 美田大佐

下達法 電報ヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付  
配布先 各隊 海軍第十一砲台  
報告通報先 各隊 東北地區隊 連絡基地第三九大隊  
山部隊輸送司令部

一月二十日	晴	島	袋	一、九〇〇部隊長岡澤大尉帶同第三大隊ニ於ケル内攻査閲ノ爲佐久川ニ出向
				二、一〇二五警戒警戒報告發令
				同時丙號戰備下令セラル
				三、空襲警戒報告發令
				四、敵機一二機未襲 被害ナシ
				五、一〇二〇空襲警戒解除
				一七〇〇警戒警戒解除
受領	獨逸旅団先頭	獨立混成第四旅團命令	一、二、一〇〇〇 宣	
		旅團ハ彦山丸ヲ以テ残置物件ヲ新守備地ニ		
		ニ輸送セントス		
		二、獨立混成第十五聯隊長ハ残置物件輸送ノ爲守備地ノ残置兵力ヲ渡久地ニ差出シ松井中尉ノ指揮ヲ受ケシムベシ		

三	松井中尉ハ前項兵力及伏採作業隊ヲ併セ指揮シ國頭地區残置物件ヲ嘉手納ニ輸送スベシ
渡久地ニ於ケル搭載ニ関シテハ船舶工兵第三	
六聯隊ノ援助ヲ受クヘシ	
四彦山凡ノ運航ニ関シテハ軍參謀ノ指示ニ依ル	
ハシ	
旅團長	鈴木少將
下運法	要旨電話右印刷交付
配賦先	1501 I/15015 21 A P 77 FL 第一作業隊
報告通報先	32A 240 國支 26SP 船舶團司令部

(總務員・事務)

陸軍

一月	二二日	晴	二。六四。敵機來襲
島	袋	三	所田軍医中尉戰傷者救援ノ爲渡久地ニ急行
別	冊	四	火砲修理班獨速ニ移動ス
		五	旅團ヨリ糧秣受領
		六	一八三。空襲警報解除
			戰闘詳報



一月二十二日空襲 戰鬥詳報

昭和二十年一月  
獨立混成第十五聯隊

一月二十日空襲

獨立混成第十五聯隊(又II)戦闘詳報

島ニ九〇ハ〇

一 戦闘前ニ於ケル 彼我形勢ノ概要

本年當初ヨリ南西諸島ニ對スル敵機ノ行動ハ相當活潑コレテ  
敵ノ侵攻企圖豫斷ヲ許サザルモノアリ (情報寫別紙ノ如シ)  
聯隊ハ主力ヲ以テ十二月八日新移駐地ニ轉進敵ノ熾盛ナル  
砲爆撃並ニ絶對優勢ナル對戰車對空挺戰斗ニ必勝ヲ期  
スルノ陣地諸施設ノ完成ニ邁進中ニシテ概ホ所望ノ域ニ達シテリ  
尚一部旧守備地タル本部時ニ一部ノ兵力ヲ殘置シ戰鬥資材ノ  
前送ニ任シテリ

本二十日〇六三五沖繩全地區空襲警報發令セラル、聯隊ハ直  
チニ乙號戰備ニ移行シ對空戰備ヲ完整スルト共ニ常時情勢  
即應ノ態勢ニテ陣地構築ヲ續行セリ

敵機ハ主トシテグラマン機ニテ四機ノ單位トシテ二一三群ヲ

以テ來襲シロ六五〇一八〇〇ニ巨ル間絶ヘズ我上空ニ在リテ執拗ニ  
銃爆<sup>強</sup>實施セリ

ニ戦斗ニ影響ヲ及ボシタル天候氣象ニ往民ノ狀況  
ノ天候 氣象

海波平穩ニシテ和風 相當濃度ノ断雲低ク垂レ敵機動部  
隊ノ來襲迄ニ敵機ノ地上攻撃ニハ絶好ノ機ヲ與ヘタルニシテ  
我對空火器ノ威力ヲ減殺セシ事甚大ナリ

ニ往民ノ狀況

住民ハ時局ニ對スル認識極メテ低調ニシテ一部極度ニ敵ノ上陸  
ヲ危懼シテ、空襲警報發令サルマ老若悉ク附近山林及  
墓地等ニ退避シ解除シラルモ容易ニ就業セズ 應郷心  
民防空ノ觀念ハ全然之ヲ認メ得ズ 此種訓練ニハ相當ノ  
努力ヲ要ス

ニ彼我ノ兵力、敵戦法、敵ノ瓦斯使用ノ種類

敵機ハグラマン艦載機ニシテ延四〇機ニ及ブモ其ノ實數ハ  
七〇乃至八〇機ヲ出デサルモノト判断ス

我ノ展開兵力

聯隊本部 第一 第三大隊主力ニシテ直接敵機ト交戦セシハ  
第三大隊機關銃中隊 第一小隊 第二小隊 第三小隊 及

第九中隊 第一小隊 第二小隊ノミナリ

一部本部町ニ淺置セシ兵クハ符使以下五五名ハ一時旅團  
松井中尉ノ指揮下ニ戦斗セリ

敵戦法

敵機ハ四機ヲ單位トシニ二三群ヲ以テ來襲シ我對空火器  
ナキ上空ヨリ雲上ヲ飛翔シ雲間ヨリ突如降下シ飛行場ヲ  
急降數波トテ爆撃ス

ニ急降下爆撃ハ六十度以上ノ角度ヲ以テ機銃掃射ヲ加ヘツ、